

保育おおさか

大阪府社会福祉協議会・保育部会(大阪府保育協議会)

金剛山

河南町
石川こども園



保育部会 総会開催



保育部会 部会長
森田 信司

役員改選 新体制で令和7年度スタート

痛感いたしました。

5月19日に保育部会の総会を開催させていただきました。ご出席いただきましたご来賓をはじめ、会員皆様にお礼申し上げます。そして、五年勤続感謝状を受けられた皆様にお祝いを申し上げます。

今年、役員改選の年でありました。新しく4人の副部会長が選出されました(下表参照)。ブロック選出の副部会長が2人、大阪府保育士会会長、調査研究委員会委員長と2組織のトップが新たな顔ぶれとなり、世代交代が進みました。私も世代交代したように新鮮な気持ちで新たな知識を取り入れながら部会運営に取り組んでまいります。

総会の記念講演は、日吉輝幸先生に能登半島地震についてご講演いただきました。目からうろこのお話に、これまでの準備は何だったのかと疑いたくなるようなことばかりでした。改めて準備や避難方法を見直そうと

令和7-8年度 保育部会正副部会長

(敬称略)

役職名	氏名	施設名
部会長	森田 信司	若江こども園
副部会長	安家比呂志	上野ひだまりこども園
	東口 房正	いずみっこ保育園
	藤井 謙昌	みずほ保育園
	篠崎 直人	平和の園
	土金 新治	五風会
	亀井 信順	明善第弐めぐみ園
	西島由美子	たいよう学院

令和7年度も、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2024年の出生者数は約72万人(速報値)でした。そのようななか、国が示した保育政策の方向性は、①地域のニーズに対応した質の高い保育の確保・充実②全ての子どもたちの育ちと子育て家庭を支援する取組の推進③保育人材の確保・テクノロジの活用等による業務改善です。これまでの「保育の量の拡大」からの大きな転換だと思えます。国の政策の大きな変革期にこそ、官民が共に手を携えて、新しい保育に挑戦していかなければと考えます。

令和7年度

保育士等キャリアアップ 研修実施計画

保育部会・保育士会では、令和7年度も「保育士等キャリアアップ研修」を実施してまいります。
今年度も、皆さまのご参加をお待ちしております。

保育部会主催研修

①スマイルサポーター養成研修

※実施中

②保健衛生・安全対策研修

◆分野：保健衛生・安全対策

◆講師：立花直樹氏（関西学院短期大学准教授）、丸目満弓氏（大阪総合保育大学児童保育学部児童保育学科准教授）

◆開催時期：7/15・18

◆定員：60人

◆開催形式：集合形式

③乳児保育（eラーニング）

◆分野：乳児保育

◆講師：瀧薫氏（社会福祉法人子どものアトリエ/城東よつばこども園）

◆開催時期：

①7/16～8/29

②2/12～3/26

◆定員：①500人 ②300人

◆開催形式：オンデマンド形式（講義）と演習

④幼児教育（eラーニング）

◆分野：幼児教育

◆講師：山本一成氏（滋賀大学教育学部学校教員養成課程幼児教育専攻准教授）

◆開催時期：9/3～10/17

◆定員：500人

◆開催形式：オンデマンド形式（講義）と演習

⑤マネジメント（eラーニング）

◆分野：マネジメント

※掲載している日程、講師、開催形式等は現在の予定であり、今後変更となる場合があります。また、受講料は各研修、開催形式によって異なります。必ず各研修の開催要項をご確認ください。（事務局）

◆講師：矢藤誠慈郎氏（岡崎女子大学）他

◆開催時期：10/27～12/10

◆定員：200人

◆開催形式：オンデマンド形式（講義）と演習

⑥保護者支援・子育て支援（eラーニング）

◆分野：保護者支援・子育て支援

◆講師：山本智也氏（大阪成蹊大学教育学部教授）

◆開催時期：12/8～1/30

◆定員：500人

◆開催形式：オンデマンド形式（講義）と演習

⑦障がい児保育研修

◆分野：障がい児保育

◆講師：木曾陽子氏（大阪公立大学現代システム科学域教育福祉学類准教授）

◆開催時期：2/16・18・20

◆定員：60人

◆開催形式：集合形式

保育士会主催研修

食育・アレルギー対応

◆分野：食育・アレルギー対応

◆講師：小川雄二氏（桜花学園大学副学長/名古屋短期大学教授）

◆開催時期：8/19・20・21

◆定員：50人

◆開催形式：集合形式

このたびは、「広報に関するアンケート」にご協力いただき誠にありがとうございました。皆さまからいただいたご意見をもとに検討を重ね、今年度から次のように変更します。
より魅力ある紙面作りおよび広報活動に努めてまいりますので、今後共、よろしくお願い申し上げます。



『保育おおさか』が

変わります

発行回数

年12回→年10回に（令和7年度は9

月号・2月号が休刊予定です）

送付方法

7月号から「紙媒体（郵送）」または「電子媒体（メール配信）」の選択

制に

※年度更新手続きの際に、希望の送付方法を選択していただきます。

※7月時点で、電子媒体の希望割合は

全体の5割程度の結果となりました。電子媒体の活用にご協力賜りますようお願いいたします。

令和7年度 保育おおさか編集委員名簿

（敬称略）

	施設名	氏名
編集委員長	みずほ保育園	藤井 謙昌
副編集委員長	こもれびのもり	得 喜成
北 摂	川添こども園	勝田 才織
	稲荷学園	丹生 匡紀
北大阪	ギンガ保育園	田中 達彦
	石津保育園	西邨 理加
	ひとつぶ保育園	一色映理子
河 内	あい桂こども園	古賀 壽
	ハッピーチルドレン保育園	竹田真喜子
	累徳学園	松本 兼典
	愛保育園	田中 宏典
南大阪	大野台こども園	吉川 亀平
	認定こども園 誉田保育園	森田功太郎
	石川こども園	向井 崇真
堺	みどり幼児園	橘田 浩史
	鳳西こども園	高槻 良平
	竹城台東保育園	谷口 拓峰
泉 州	ひねのこども園	神藤 吉伸
	第2八木こども園	藤縄 貴司
	信太保育園	三浦 祐助

大阪万博が4月13日からいよいよはじまりましたね。娘が大好きなA do が万博開幕ライブをするので申し込むと、まさかの当選！開幕初日は悪天の影響もあり、来場者数は、見込みより2万人少ない9万9千人だったそうです。それでもすごい、人、人、人。電車の遅延に加えて雨のなか、手荷物検査の列に2時間並んだため、入る頃にはすでににくたくたでした。それでも、夜のA do ライブまでいろいろな所を散策し、大屋根リングの大きさに驚嘆。ライブも神曲ばかりで大満足。

最初、私はライブにしか興味がありませんでしたが、娘はパビリオンへの関心が高まり、娘なりに未来を想像する姿に万博の意味を感じました。さまざまな問題がいわれていますが、まずは行ってみて、各々がどう感じるかを考えるだけでも価値があると思います。

（編集委員 T・I）





メンタルチャージ|SC研究所(株)
代表取締役

岡本 文宏 氏

6月 イマドキの若手スタッフを どうマネジメントすれば良いのか？

今どきの若手はやる気が見えない、積極性に乏しい、何を考えているのかよく分からず…とお感じのリーダーや経営者の方は多いのではないのでしょうか。

若手スタッフをマネジメントするには、現代の若者の特徴を知ることが第一歩です。興味深いデータを紹介します。

若手の自己肯定感を 高めることがカギに

子ども家庭庁による「我が国と諸外国の子どもと若者の意識に関する調査」^{※1}によると、『自分自身に満足しているか？』の設問に対して、『そう思う』と答えた

のは、アメリカ44.7%、フランス34.9%に対して、日本の若者は21.1%でした。『今の自分が好きだ』の問いに『そう思う』と回答したのは、アメリカ38.1%、ドイツ33.7%で、日本はわずか17.5%でした。積極性の有無にかかわる設問の『うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組むか？』についても、アメリカとフランスの若者の35.8%が『そう思う』と答えて

いるのに対して、日本の若者は13.4%でした。

もう一つの調査結果をご紹介します。(株)リクルートマネジメントソリューションズによる「新入社員意識調査」^{※2}によ

ると、『社会人として働いていくうえで大切にしたいことは何ですか？』の問いに対して、『何事にも率先して真剣に取り組む』と答えた人は、13.8%でした。5

年前に行った調査結果と比較すると3.8ポイント、10年前からは8.4ポイントも低下していました。

これらの調査結果から、今の若者は、自己肯定感が低く、積極性に乏しいことが分かります。自己肯定感とは、『自分は価値ある存在』と「自分に満足できている」と思える状態にあって生まれる感覚です。自己肯定感が低いと、物事に取り組むときに「自分にはできない…」「うまくいかないのでは…」と、諦めてしまいがちになります。そうなると、積極的な行動を取ることができなくなって当然です。

今どきの若手世代の部下

のやる気に火をつけて、積極的に仕事に取り組むように促すには、彼、彼女たちの自己肯定感を高めることが近道です。

職場で短い時間で行える自己肯定感を高めるワークを2つご紹介します。

1つ目は、「貢献アワード

投票」です。職場や周りのスタッフに対して、貢献しているなと思える同僚(上司、部下も含む)を数名選び、推薦理由とともに投票し、週や月ごとに集計結果を発表するという簡単な取り組みです。そこに自分の名前があれば、周りに役

立っていると実感できるので、自己肯定が高まると共に、承認欲求も満たされま

す。私が社員研修で関わる企業では、毎年、年間の上位入賞者を表彰するセレモニーを年度末に開催しており、社員が楽しみにするイベントになっています。

2つ目は、朝礼や会議の時間を利用して行う「強み(長所)発見」ワークです。まず、自分自身の強みと思えることを付箋に10個以上記入します。次に、同僚

について、各自の長所と思

えることを、1人につき10個以上記入していきます。全員の強みを付箋に書き終えたら、同僚1人ずつに対して、記入したことを読みあげて、最後に付箋をプレゼントします。人数が多い場合は小グループに分かれて実施してください。

ワークを終えたら、自分で書いたものと周りから受け取ったものを合わせて、数十個の自分の強みが書かれた付箋が手元集まりま

す。自分で長所であると思っていないことが、周りからすると優れた点だと思われるわたり、自分では全く気づいていなかった強みを発見できたりと、自信につながります。

こうして自身の優位性を理解していくことで、自分

は価値ある存在だと思えるようになり、自己肯定感が高まります。結果、若手世代の心にやる気の火を灯すことができます。

世代は違っても同じ人間として向き合おう

最後に、マネジメントを行う際に、リーダーが意識しておくべきことをお伝え

します。それは、世代が違って、人間として根底にあることについては、大差がないということです。たとえば、嬉しいことや残念に思うことなどの感情や承認欲求、成長欲求などの人間の根源的な欲求はすべての世代において存在し、大きな差はありません。

また、世代ごとに「一括りにして」「Z世代は」「だ」とステレオタイプに捉えてしまわないようにすること

です。今回お伝えしたのは、あくまで全体の傾向で、すべての若手世代にあてはまるわけではありません。一人ひとりに向き合い、しっかりと観察して、どういった性があるのかを把握することが必要です。くわしくは、4月号のコラムをご参照ください。



※2「新入社員意識調査2023」



※1「我が国と諸外国の子どもと若者の意識に関する調査」(令和5年度)

保育園・認定こども園をたずねて



豊中市

子どもの思いを 中心に

わかば保育園

保育所

わかば保育園は、阪急宝塚線庄内駅から徒歩10分の線路沿いにあります。

2007年に0〜3歳45人定員で開園、2018年には0〜5歳の60人定員に変更されました。増築した園舎は横に長い建物を工夫し、吹き抜

けのフリースペースを中心に乳児クラスの保育室が並んでおり、明るく開放的な空間。幼児クラスは園庭にすぐに出ることができ、園舎と園庭の間にあるテラスは雨天時でも遊ぶことができます。

乳児は、個々のペースに合わせてゆったりとした保育を、幼児は子どもの思いを中心に主体的な活動を広げていく保育を展開されています。体を動かすことの楽しさを感じられるようにと、リズム遊びを取り入れています。

阪急電車と飛行機を身近で

見られる園庭は子ども

たちにも大人気。草木も多く、年中虫探しに夢中です。地域支援では、

ベビーマッサージや離乳食講習が開かれ、子どものかかわり方のアドバ

イスや悩みの共有をされています。夏祭りでは、年長児のお神輿が地域を練りまわるの



阪急電車がすぐ横を走る



光がさしこむ開放的な空間

が名物です。園長先生の優しい雰囲気と地域の方の温かい見守りが心地よい園です。

(編集委員 Y・I)

富田林市

気軽に利用できる 地域に開かれた園に

梅の里こども園

幼保連携型認定こども園

梅

の里こども園は近鉄高志駅周辺（交通ターミナル・商業地が集積する地域）と梅の里地区（戸建て住宅を主とする新市街地）との中間に位置する住宅街にあります。

園では、子育て支援センターの運営に注力し、親子教



室や講座などを定期開催しています。子ども英会話やリトミックといった教育的なものからベビータンダンスや親子体操といった運動まで豊富な講座の中で、特に人気の講座が「ア

イシングクッキー作り」です。講師が焼いたクッキーの表面にアイシング（糖衣）で可愛らしくデコレーションしていきます。近所の公園に出向く「あおぞら保育」や年に4回開催する「お味噌汁パーティー」



可愛らしくデコレーション
アイシングクッキー作りの様子

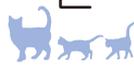
というユニークなイベントも。親子がおにぎりやお弁当を持ち寄り、園が給食のお味噌汁を提供して交流します。

「地域に開かれたこども園であることを大切に、親子が安心して利用できる場所を作ること子育て支援に貢献したい」と園長先生。令和7年4月からは富田林市地域子育て相談機関を園内に設置する予定で、地域の姉妹さんや子育て中の親が気軽に育児相談できるようにしたいと考えられています。

(編集委員 K・M)

さんぽ

「うちさま」 は何のため



先日、飲食店での食後に「うちさままでした」と言う人への賛否がSNS上で論争になっているという記事を見て驚きました。

私にとっては食後に「うちさま」と言うことはごく普通の感覚でしたが、否定的な意見のなかには「恥ずかしい」「お金を払っているのだから言う必要がない」といった意見が多かったようです。

しかし、そもそも「うちさま」には料理を作ってくれた人だけでなく、お米や野菜を作ってくれた人、魚を獲った人、食事が並ぶまでに関わったあらゆる人や生命そのものへの感謝の気もちも含まれていると思います。

子どもたちには、ただあいさつを教えるだけでなくそこに込められた意味や思いもしっかりと伝えることが大切だと感じました。

(取石認定こども園 Y・S)